

別紙

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

尾道造船株式会社 尾道造船所

(2) 事業所の所在地

広島県尾道市山波町1005番地

(3) 業種

【3031】 船舶製造・修理業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25年（2013年）度を基準年度とする平成27年（2015年度）から平成30年（2018年）度までの4年間とする。

3 計画の基本的な方向

1. 基本的な考え方
<p>当社は、環境の保全を経営の重要課題と位置づけ、環境を考慮した事業活動に努め、環境への負荷の低減を推進することにより、持続可能な社会づくりに貢献します。</p> <p>特に、今日の環境問題の中でも、とりわけ重要視されている地球温暖化防止については、全ての事業活動を通して社員教育を図り、温室効果ガスの排出抑制に努めていきます。</p>
2. 方針
<ul style="list-style-type: none"> ○ 環境法令の遵守 ○ 環境に優しい製品の提供 ○ 廃棄物の排出抑制の推進 ○ リサイクルの推進 ○ 社員への環境教育の徹底

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度 平成25年度	直近年度 平成26年度
二酸化炭素	データなし	8928	9038

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度 平成25年度	直近年度 平成26年度
二酸化炭素	データなし	62	65

【その他温室効果ガス】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
メタン			
一酸化二窒素			
HFC PFC SF ₆			

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： エネルギー起源CO₂=使用鋼材量（千t）

非エネルギー起源CO₂=ごみ焼却量（t）

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量（千t），削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成25年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成30年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	8928	61.4	145	4	8570	61.4	139
非エネルギー起源CO ₂	62	0.92	67	100	0	0	0
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
総排出量	8990	62.3	144	3	8570	61.4	139
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	4074			4	3911		
目標設定の考え方	エネルギー起源CO ₂ を年に1%の削減。 非エネルギー起源CO ₂ は焼却炉老朽化により撤去の公算大。						

※ 削減率(d) = { (c) - (g) } / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	燃料の使用量を削減	・アイドリングストップの徹底
2	電気使用量の削減	事業場全体の電気使用量を原単位で4%削減	・冷暖房の適正管理 ・昼休憩時の消灯を徹底 ・LED電球の全社的な設置 ・用水使用量の節約 ・空気圧縮機の消費電力を抑制するため、エアリークの削減を行う

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	廃棄物排出量の削減	コピー用紙使用量・排出量の削減	両面コピー・裏面利用 分別収集及び資源化の徹底
2	資源のリサイクル化を促進	業者への回収協力の呼び掛け	木製パレット、紙くず、ダンボール、 廃プラ、ビニール等は出来るだけ業者に引き取ってもらう。

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制

温室効果ガス最高責任者	所長	温室効果ガスに関する各種事項の決定、承認	
温室効果ガス最高責任者代理 推進責任者	副所長	最高責任者の補佐、代行	
温室効果ガス部推進責任者	総務部長、資材部長、造船部長、機電部長	温室効果ガス削減計画書に基づき指導を行う	
温室効果ガス担当部署	安全衛生課 動力課	関係官庁への事務手続き その他必要事項	
温室効果ガス 削減委員会	委員長	所長	<ul style="list-style-type: none"> ・温室効果ガス削減計画の取り組み状況の把握、点検および問題点の検討を行い、継続的な向上を図る。 ・従業員、関連会社に対する教育、指導。 ・その他必要事項
	副委員長	副所長	
	委員	総務部長、資材部長、造船部長、機電部長、安全衛生課長	
	事務	安全衛生課	

(2) 実施状況の点検・評価

温室効果ガス削減委員会において、推進状況を確認し継続的な向上を図る。

(3) 計画書等の公表

事務所への備え付けによる閲覧。